

令和8年度 教育計画						学校番号 82	
今治市立宮窪小学校							
校長名	大沢 勇司	学級数	8 (2)	児童 生徒数	48	教職 員数	13

重点目標と具現策	1 自ら学ぶ子を育てる。 (1) 「宮っ子学びの週間」・「宮窪小学習の約束」による基礎的・基本的な学習内容の定着 (2) 学習環境の整備やユニバーサルデザインを意識した「分かる・考える・伸びる」授業実践 (3) タブレット端末等のICT機器を効果的に活用した個の学びの充実を目指す授業づくり 2 正しく判断する子を育てる。 (1) 道徳教育の推進と学校内外における規範意識の高揚 (2) 「宮小4つの伝統」(履物そろえ、挨拶、黙って掃除、椅子入れ)の徹底 (3) 「宮小人権宣言」(自分がされてうれしいことをしたり言ったりする)の指導 3 がんばる子を育てる。 (1) 自己肯定感を高める児童一人一人に寄り添った指導の工夫(「褒めて伸ばす」) (2) 心と体を鍛える体験活動の充実(縦割り班活動、清掃、行事、福祉体験活動、課外活動等) (3) 自らの思いや考えを自信をもって表現できる自己表現力の育成 4 家庭・地域・大島地区学校運営協議会と連携する。 (1) 大島地区学校運営協議会の意見をもとにした学校運営の改善及び児童の健全育成 (2) ふるさとのよさに気づき、愛し、伝統文化の伝承に貢献する児童の育成 (3) 地域防災や学校安全、園児・児童・生徒の見守りを念頭に置いた保幼小中の連携の強化
	1 人的管理 (1) 教育公務員としてのサービスの厳正と信用保持を徹底する。 (2) 温かい人間関係を基盤とした協働体制を確立する。 (3) 業務改善を図り、心身の健康管理を推進する。 2 物的管理 (1) 定期的な安全点検と的確な安全対策を行い、事故防止に努める。 (2) 施設・設備、備品の整備と有効活用に努め、教育効果を高める。 (3) 薬品管理を厳正に行う。 3 事務管理 (1) 文書等の迅速・正確な処理に努める。 (2) 公文書、個人情報、金銭の厳正な処理・管理を徹底する。 (3) 校務処理の効率化に努める。 4 業務改善と働き方改革 (1) 出退勤記録等を意識し、自身の働き方を見直し、ワークライフバランスを大切にする。 (2) 働きやすさや働きがいを意識し、自身のウェルビーイングを大切に、業務に取り組む。 (3) 健康増進や心身のリフレッシュに気を配り、心のゆとりを大切に、メンタルヘルスを心掛ける。
本校教育の特色と展開	宮窪町は、大島石の産地や漁業が盛んな地域として知られるとともに、能島城跡、村上海賊ミュージアム等、地域の特色を生かした観光も盛んな地域である。しかし、過疎化・高齢化が進み、学校適正配置化による統合検討対象校になっている。 本校は、宮窪町の自然や文化のよさを教育活動に取り入れ、保護者や地域の協力を得ながら、自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成に努めている。また、大島地区学校運営協議会の設置により、運営協議会の意見を受けるとともに、大島地区の3小中学校で協力しながら、地域を誇りに思う児童の育成にも取り組んでいる。 1 地域のよさを児童が実感できる体験活動を推進する。(地域文化、水軍太鼓、福祉体験活動等) 2 教職員が共通理解を図って指導に当たり、自己肯定感や規範意識を育て学力の向上を図る。(挨拶、履物そろえ、椅子入れ、黙って掃除、学びの週間、スキル学習、検定テスト等) 3 地域や保護者の理解・協力を得るための情報発信に努める。(学校・学年便り、HP等) 4 地域人材による学校支援体制の構築と働き方改革の理解促進に努める。 (大島地区学校運営協議会、学校支援ボランティア、宮窪子どもまもり隊等)